



武 一 中

令和 8 年 4 月 27 日
武蔵野市立第一中学校
学校だより R8-2 号

[URL:https://dai1-jh.musashino-city.ed.jp/](https://dai1-jh.musashino-city.ed.jp/)

学び方を広げる

校 長 中嶋 建一郎

1 学期がスタートして 3 週間が過ぎました。新しいクラス、新しい先生にも段々と馴染んできたと思います。私はこの時期、授業を見て回っています。皆さんの受けていた授業をいくつか紹介します。

1 年生の国語の授業では、先生の自己紹介や授業の説明の後、ラーニングコモンズに向かいました。使い方やルールを聞き、その後自由に過ごしました。明るく広い空間に様々な本が置いてあります。今後は国語の授業だけでなく、他の授業や昼休み、放課後などにも活用してみてください。教室とは違う、解放された空間での学びを体感してほしいです。

2 年生の理科の時間では、静電気の実験をしていました。2 本のストローを毛皮でこすり、一方の中心に針を刺し、筒状の台に乗せます。もう一方のストローを近づけると反発してくるくると回ります。ストローを近づけると瓶の中の金属箔が開く器具もありました。もう一つの実験では、皆で輪になり手をつなぎ、先生が静電気を流します。私も輪に入りビリビリしました。この授業では、配られたプリントを紙ファイルに綴じる方法もいつもと違いました。1 枚目が先頭になるような綴じ方で上下左右混乱する人もいました。実験も新たな綴じ方も身体的、感覚的に経験することは印象深いです。

3 年生の難聴理解授業では、同じ映像を

ナレーションの有り無しで比べました。それぞれでメモを取ると情報量の違いが明らかです。難聴者には文字情報が大切だということや多くの映像資料は健聴者を中心に作られていることが実感できる内容でした。災害時などに難聴者以外に困難を感じる人がいることも考えました。視覚、身体、知的などに障害のある人、外国人、高齢者、乳幼児のいる人などが挙げられました。1 つの例から発想を広げる方法を学んでいます。

皆さんには自分の得意な学び方や好きな方法がありますか。文字や写真など見て学ぶのが得意、話を聞いて学ぶのが得意、体を動かして体験して学ぶのが得意、誰かに教えてもらうのが好き、1 人でじっくりと考えるのが好き、誰かと教えあうのが好きなどいろいろありそうです。学ぶ場所にも好みがあります。自宅がいい人、学校がいい人、図書館がいい人などです。

紹介した授業のように先生方は、様々な方法で皆さんに教えてくれています。今の皆さんは、それを受け止め自分の知識や体験として吸収する時期です。自分の得意や好きと違うやり方でも、まずは素直に従ってみましょう。経験したことがないから否定するのではなく、こんな方法もあるのかと面白味を感じられるのが理想です。皆さんが学び方を広げ、一步一步自分を高めていくことに期待しています。